

令和5年2月八戸市教育委員会定例会会議録

開催日時 令和5年2月20日(月) 午後1時30分

場 所 市庁本館3階 議会第2委員会室

出席者	教育長	伊藤	博章
	教育委員	油川	育子
	教育委員	小瀬川	喜井
	教育委員	福井	武久
	教育委員	西山	康巳

事務局出席職員	教育部長	石亀	純悦
	教育部次長兼教育総務課長	鈴木	伸尚
	教育部次長	大館	秀光
	博物館長	小保内	裕之
	学校教育課長	熊谷	誠二
	教育指導課長	梅内	太郎
	社会教育課長	三浦	幸治
	是川縄文館副館長	松橋	広美
	総合教育センター所長	河村	雅庸
	こども支援センター所長	佐々木	誠
	図書館副館長	磯嶋	奈都子

開 会

(伊藤教育長)

定刻となりましたので、令和5年2月教育委員会定例会を開会します。

本日の議事録署名は、西山委員を指定します。

それでは、はじめに私から、主な会議・行事等について説明いたします。

主な会議・行事等

(伊藤教育長 資料に基づき説明)

(伊藤教育長)

本日は議案の提出がありませんので、報告事項にまいります。

はじめに「令和4年度マイブック推進事業について」事務局からの説明をお願いします。

【令和4年度マイブック推進事業について】

(梅内教育指導課長 資料に基づき説明)

(伊藤教育長)

ただいまの報告につきまして、御意見、御質問等ありましたらお願いいたします。

(小瀬川委員)

丁寧な御説明ありがとうございました。このマイブッククーポンは、私の大学生の娘が小学校高学年の時に始まりまして、ちょうど娘も春休みで家にいたので、マイブッククーポンを覚えているか声掛けをしたんです。娘からは「覚えているよ。一緒に本屋さんに行ったよね」というのが第一声でした。この事業の意義にもなりますが、本を通して親と子どもが素敵な時間を過ごすことができたなと思い、そして子どもの思い出にもなっていたということに改めて感謝した時間でした。

6ページに文集「はちのへ」の生活文で「夢のチケット」という題の作文がありまして、お子さんがお母さんと一緒に街を訪れて本屋さんに行くという内容で、とても素敵な生活文を読ませていただきました。自分だけの一冊を手にするだけでなく、親子との絆づくりといえますか、そういう時間の創出にも一役買っているということで、とても素晴らしい事業だなと改めて思ったところでした。

今回の定例会資料の中の注文袋を見せていただいて、去年までの袋は「9月30日まで」と利用期間が記載されていたと思うのですが、今年はその部分がありませんでした。注文袋を全員に配ることで、この袋を使うだけで本が買えることになりますので、この事業の意義としてどうかということが去年の課題にも挙げられていたと思うのですが、今年も夏休みを終えてから対象者に配布したということで、そういう一つ一つの課題解決に取り組まれていることに大変感謝をしております。

この注文袋に載っている本の中で、特に私が目についたのが29番と31番の本になります。例えば31番は女性の数学者キャサリン・ジョンソンの伝記になりまして、NASAの科学者として働いた最初期のアフリカ系アメリカ人の女の人らしいですけれども、これからどんどん女性も社会で働いていく上で、小

学生が読むに当たって女性のキャリアモデル、ロールモデルになるような方なのかなと思いました。まだこの本自体は読んでいませんけれども、そういう方の伝記を選んでいच्छることも素晴らしいなと思いました。

また、最近キャッシュレスの時代になってきて、カードやスマホを読み取って支払いも完了しますので、実際にお金を動かして使い方を学べた時代とはちょっとずつ変わってきているのかなと思います。保護者アンケートにもありましたけれども、クーポンを頂くことで自分でお金を計算したり、本を買うためにお小遣いを貯めたりしているようですので、そういうのもこのクーポンの素晴らしいところかなと思いました。

資料の中に今後の課題が書かれていますので、次年度にさらに期待したいなと思います。最後になりますが、この事業の実施に当たり、見えないところで支えていただいている現場の先生方が子どもたちの注文袋を回収してくださったり、クーポンを使っていない児童生徒に声掛けをしてくださったりしていますので、改めて感謝を申し上げたいと思います。

(伊藤教育長)

ありがとうございました。そのほか、関連質問はございますか。

(油川委員)

ただいまの報告から使用率や執行率が右肩上がりですべて100パーセントに近づいているということは、担当の皆様の熱意と御努力によるものかと思ひ、大変ありがたく思ひます。

私から一つ提案ですが、児童生徒がこのマイブッククーポンを活用して購入した本を紹介できる場、皆さんに本をお勧めできるような場を作つてあげたら取組が広がるのかなと思ひます。例えば、八戸市の教育委員会のホームページの中に「マイブッククーポンを使って購入したお勧め本コーナー」などを作つて、学校の先生方の管理の下、児童の皆さんからの声を書き込みするなど、これから購入する人たちに参考にしてもらえるような、それぞれの本の素晴らしかった点を伝えられるコーナーもあれば、子どもたち同士のICTを通した「C:コミュニケーション」が図れるかと思ひます。来年で10年目になるということで、そういったことも一つ提案もさせていただきました。ありがとうございます。

(伊藤教育長)

そのほか、ございませぬか。

(福井委員)

今おっしゃられたように、グラフから見るとかなりの児童生徒が利用しているということで、毎年マイブッククーポンに関していろいろな提言がありながら、それを改善してきた結果が出ているのかなと思ひます。5ページに保護者アンケートがあるのですけれども、4,171件の回答がありました。その中から選りすぐったものを載せていると思ひますけれども、好意的な意見が多く、これを読むとやはり改善がなされているなというのがよく分かりました。多分こういうアンケートをやると、中には批判的な意見もあると思ひうんですけれども、もし差し支えなければ、どういふのがあったのか教えていただければと思ひます。

その批判的な意見の中には、1枚残ったクーポンの活用に対するヒントもあるのかなと思いました。

(梅内教育指導課長)

手元に資料がございませんので、後ほどお答えいたします。

(福井委員)

また、ブッククーポンの用紙は三菱製紙八戸工場から無償提供されているということですが、10年の節目に何か賞状とか感謝状をやるとか、そういうのがあると今後またつながっていくのかなと思うのですが、いかがでしょうか。

(梅内教育指導課長)

御意見ありがとうございます。担当と一緒に相談して検討したいと思います。

(教育長)

そのほか、ございませんでしょうか。

(西山委員)

この事業9年目ということで、グラフからも分かるように、目に見えて効果が上がってきていることがよく分かります。担当課、担当者の方の御苦勞が非常に偲ばれるなど感じましたし、これからも長くこの事業が続くように、また御努力いただければなど思っていました。前からの課題かと思いますが、1枚もクーポンを使えなかった児童をなくすことですよね。ここまで執行率が上がってくると、個人の事情もあったりするので大変難しい状況であると思いますが、これまでも毎年手を変え、品を変えというか、非常に細かな対応をしたことで数値が上がってきたということもありますので、これからも全ての児童が本を手に行けるように事業展開をお願いできればと思います。よろしく願いいたします。

(教育長)

そのほか、ございませんか。ありがとうございます。

次に「令和4年度学校教育実践功勞表彰について」事務局からの説明をお願いします。

【令和4年度学校教育実践功勞表彰について】

(河村総合教育センター所長 資料に基づき説明)

(伊藤教育長)

ただいまの報告につきまして、御意見、御質問等ありましたらお願いいたします。

[質疑なし]

そのほか、事務局から報告事項はありますか。

(梅内教育指導課長)

先ほどの福井委員の御質問にお答えいたします。批判的なアンケートの中身ですが「クーポンの予算を福祉に回してほしい」「中学生にもクーポンを配るべきではないか」という意見が比較的多く出されています。また少数ではありますが、次の意見がありました。「ブックセンターで使えるようにほしい」「対象図書と対象外図書の違いが分かりにくい」「書店によって対応が違う場合がある」ということがアンケートの内容としてありました。以上です。

(福井委員)

ありがとうございました。

(伊藤教育長)

そのほか、事務局から報告事項はありますか。

[なし]

事務局からは以上ようです。

それでは最後に「その他」ですが、委員の皆様方から何かございますか。

[なし]

閉 会

これをもって令和5年2月教育委員会を終了いたします。お疲れ様でした。

(午後2時9分開会)